

研究室派遣研修 体験談(フィンランド)



プログラム名:研究室派遣 (2018年度海外インターンシップ)

留学者 : 電子機械システム工学専攻 1年 2名
機械工学科 5年 2名

留学期間: 2018年8月26日~11月20日 (約3ヶ月間)

派遣国 : フィンランド (トゥルク)

機関名 : トゥルク応用科学大学 (協定校)

留学内容: 配属された研究室において、与えられた研究テーマを遂行する。



留学までの流れ

2018年3月: 研究室派遣研修申し込み

4月: フィンランドへの派遣決定

4月以降: 海外旅行保険手続きなど

事前学習 (英語など)

8月: 留学開始



TURKU AMK
TURKU UNIVERSITY OF
APPLIED SCIENCES



トゥルク応用科学大学 校舎

留学先での生活

・滞在中は寮で生活。朝ごはん、夕ごはんは自炊、
昼ごはんは学食。

・大学では、キャンパスや工場・ラボで活動し、電気
自動車制作プロジェクトにて設計に携わった。



工場・ラボ



学食

注意すること

食事:炭水化物、脂質中心の食事で胃腸を壊しやすい。

先生方とのコンタクト:交換留学担当者や研究室メンバーを通じて

言葉:スーパーの品表ではフィンランド語のみ 市場などでは英語は通じなかった。

気温:日照時間も少なく、風も強いので、寒い。



寮の室内

感想

現学生間で交流することで、多種多様な人の嗜好や考え方などを共有することができた。

海外での研究活動や授業を体験できた。

フィンランド独特の文化や自然を満喫できた。



現地での授業

留学を考えている方へのアドバイス

研修で何をしたいか、学びたいかを明確にする。

常に自発的な行動を！

メリハリのある生活に！

